

# ぐるっと まにわ 真庭

10月6日と7日の2日間、勝山町並み・体験クラフト市が開かれました。勝山に根付くものづくり文化を知ってもらうため、作家の手仕事に直接触れて大変さや素晴らしさを感じてもらおうと毎年開かれています。また、初めて勝山を訪れた人に再び訪れてもらい、何度も訪れている人や地区住民にも改めて地域の魅力を感じてもらおうといった、交流定住も目指しています。参加者は体験を通し、手仕事の温かさや作り手との繋がりをより身近に感じていました。



## 手作りの温もりを感じて 勝山町並み・体験クラフト市

きれいに染まった! 自分で染めると喜びもひとしお



ふりかけやコーヒーなどの薬草料理を試食



ひとつひとつ丁寧に作業する参加者

9月24日に久世エスパスラウンドで、手作りの品を展示販売する、まにわハンドメイドマルシェが開かれました。会場には、40の店にアクセサリーや木工品などオリジナル作品が並び、訪れた人が目を輝かせながらお気に入りを探していました。また、手作りを体験できる店もあり、参加した人が世界に一つだけの作品作りを楽しんでいました。この日は、やまびこマーケットも同時開催され多くの人でにぎわいました。

## ハンドメイドを楽しもう! まにわハンドメイドマルシェ



放牧される2頭のジャージー牛

9月22日、木山寺の裏の遊休地を活用した木山牧場が完成しました。牧場には、「もちつね」、「こはる」と命名された2頭のジャージー牛が飼育され、完全放牧に向けた挑戦が行われます。2頭の牛からとれた牛乳は「ギー」と呼ばれる乳製品に加工され、販売されます。牧場の周辺には遊具も設置されていて、今後も牛とのふれあいをはじめ、キャンプイベントなど親子連れに向けた遊び場づくりが行われる予定です。

## ジャージー牛の放牧開始 木山牧場完成



お気に入りのハンドメイド作品をお買い上げ!

9/20 ジビエ料理の知識と技術を学ぶ

真庭高校久世校地食品科学科で、ジビエ商品開発の課題研究に取り組む2年生4人が、真庭あぐりガーデン Natural buffet うさ八の小野料理長を講師に、猪肉の捌き方やミートソースの製造に取り組みました。



9/22 満月コンサート

普門寺の庭園で西日本豪雨災害チャリティーコンサートが行われました。ライトアップされた幻想的な庭園で、さまざまな楽器の演奏などが披露され、一夜限りのステージに観客は魅了されました。



10/9 健康に気を付け積極的に挑戦

宮林艶子さん(下河内)が10月8日に百歳を迎えられました。落合高校教員として長年勤務されていました。健康に気を付け、短歌や茶道、お花などさまざまなことに積極的に挑戦することが、長寿の秘訣だそうです。



10/10 3度の食事と運動を大切に

森川照子さん(関)が10月1日に百歳を迎えられました。3度の食事を規則正しく食べ、天気の良い日には畑仕事で体を動かすことが長寿の秘訣です。また、雨の日も縁側で歩行運動をしているそうです。



10/21 南の島の民族になろう!

「みんなでなろうよ! ダンボリアン」が開かれ、遠い南の島にダンボールを使っていろいろなものを作る架空の民族「ダンボリアン」の仮面と楽器を作りました。子どもたちは想像を膨らませながら工作を楽しみました。



八畳岩の前で説明をする歴史ガイド

中世の歴史を感じて  
社の中世式内八社案内ガイド

10月8日、社地域振興協議会の歴史ガイドが、歴史や史跡などを案内する「社の中世式内八社案内ガイド」が開かれました。今回の企画はこれまで歴史ガイドが行ってきた案内を、湯原温泉宿泊客などにも広げていくため観光関係者とともに企画し直したものです。参加者は、まだまだ多くの謎に包まれている式内八社や大御堂のほか、八畳岩、佐波良の大杉などをガイドとともに巡り、中世の歴史やロマンを感じていました。



篠塚さんの指導を熱心に聴く子どもたち

元プロ選手の野球教室  
勝山野球スポ少40周年 読売さわやか野球教室

10月13日、勝山野球スポーツ少年団の40周年を記念した元プロ野球選手による野球教室が、真庭やまびこスタジアムで開催されました。市内のスポーツ少年団7チームの子どもたち約70人が参加し、元巨人の河埜和正さん、篠塚和典さん、角盈男さんの3人から指導を受けました。守備と打撃を河埜さんと篠塚さんが、投手を角さんが指導し、子どもたちは往年の名選手たちからの指導を熱心に聞いていました。